

第3回丹波市自治協議会のあり方懇話会(摘録)

開催日時	平成30年9月21日(金)午後2時00分開会～午後4時00分閉会
開催場所	ライフピアいちじま 研修室
出席者	<p><b>【委員】</b>  久隆浩委員、大野亮祐委員、西垣伸彌委員、清水明委員、足立德行委員、藤本修作委員、田中延重委員、永井正伸委員、畑田久祐委員、田村庄一委員、吉見温美委員、荒木伸雄委員、田中義人委員、吉積明美委員</p> <p><b>【事務局】</b>  まちづくり部長、市民活動課、各支所</p>
欠席者	<p><b>【委員】</b>  澤村安由里委員、田邊和彦委員、増南文子委員、足立純子委員</p>
傍聴者	3名
次第	1 開 会 2 座長あいさつ 3 会議の公開・非公開の決定について 4 報 告 (1)第2回会議摘録について (2)前回までの会議で確認した自治協議会等の状況について (3)前回会議で求められた各自治協議会組織図等資料説明 5 協 議 (1)委員意見交換 (2)中間報告にかかるとりまとめについて 6 第4回懇話会開催日程等 7 閉 会
資料	◆配布資料 <b>【資料1】</b> 第2回会議摘録 <b>【資料2】</b> 前回までの会議で確認した自治協議会等の状況について <b>【資料3】</b> 前回会議で求められた各自治協議会組織図等資料説明 <b>【資料4】</b> 自治協議会アンケート ◆追加資料 <b>【資料5】</b> 今後の自治協議会の「組織運営」、「活動内容」のあり方について

会議摘録	
発言者	発言の要旨
	<p><b>1 開 会</b></p>
座長	<p><b>2 座長あいさつ</b></p> <p>丹波市は6町が合併して、旧町の立派な施設が残っている。その施設を活用した元気のある取り組みができると期待している。会議を通じて各地域を回らせて頂き、それぞれの雰囲気を感じている。本日の会議でも活発な意見交換ができればと思う。</p>
座長	<p><b>3 会議の公開・非公開の決定について</b></p> <p>○公開とする。</p>
	<p><b>4 報 告</b></p>
事務局	<p><b>(1) 第2回会議摘録について</b></p> <p>○資料1について説明</p>
事務局	<p><b>(2) 前回までの会議で確認した自治協議会等の状況について</b></p> <p>○資料2について説明</p>
事務局	<p><b>(3) 前回会議で求められた各自治協議会組織図等資料説明</b></p> <p>○資料3について説明</p>
座長	<p>ただいまの説明内容について、何かご質問等はいかがか。</p>
委員	<p>資料3にて、「旧柏原町では、校区ごとの自治会長会が無かったため、旧町の総代会(自治会長会)が合意形成機関となっていた。」と書いてある。柏原町の組織は、校区ごとの自治会長会がなかったというところではなく、柏原町地域全体で事業を行っていたため、校区ごとに設置する必要がなかったという経緯はある。この書き方では語弊が出る可能性があるので訂正を願う。</p>
座長	<p>柏原町はコンパクトなまちで、校区毎に分ける必要がなく、柏原町全体で歩んできたという様な書き方に訂正を願う。</p>
	<p><b>5 協 議</b></p>
座長	<p><b>(1) 委員意見交換</b></p> <p>各自治協議会の課題や好事例などについて意見交換頂き、今後の自治協議会のあり方を検討させて頂きたい。</p> <p>中間まとめをさせて頂こうと思っており、中間まとめに向けて積極的な意見交換を頂きたい。</p>

会議摘録	
発言者	発言の要旨
委員	<p>大路地区自治協議会の概要を織り交ぜながら話をさせて頂く。</p> <p>私は平成 24 年から自治協議会の会長となり、その前には自治会長を務めている。両方を通じて8年間大路地区の変化を見てきた。自治協議会の会長となった時期は、自治基本条例ができて、元気な地域づくり事業の取り組みが始まった時期である。</p> <p>大路地区自治協議会は、大路地区区長会が大路地区自治協議会と名前を変えた組織である。名前が変わっただけで、決議機関としての役割は変わらない。</p> <p>元気な地域づくり事業を始めるに当たり、自治会長などの幹部だけで物事を決めては駄目だということで、若い人に参画して貰えるように各自治会から2名のまちづくり委員を選考した。元気な地域づくり事業は、若い人を中心に5年間活動を行ったが、従来からある各組織との連携が上手くできなかった。年配の方から、若い人が勝手にやっているので関係ないという考えがあり、まとまりが悪かったということがある。</p> <p>5年間の元気な地域づくり事業が終わり、平成 29 年度から新しい地域づくり事業が始まった。若い人と年配の幹部や各組織と連携をとる必要があると考えて、ふるさと大路創生会議を作った。そこでは、大路地区の課題を徹底的に分析して課題と取り組みを考えた。また、丹波市の方針や県の地域創生の考えを聞き、視察を行うなどの取り組みも行った。課題を分析する中で、メンバーが提案したことが実践できるように、振興委員会、福祉委員会、交流委員会の3つを作った。その結果多くの部会が出来た。一方で、行事が多くなり不満の声があるなど、課題も残っている。</p> <p>自治協議会が今後の地域づくりにおいて重要な役割を持っていると、今までの活動を通じて実感した。同様に自治会も重要な組織であり、自治会があるから自治協議会ができていると思う。校区全体の主要な課題は自治会と自治協議会で上手く連携を取っていく事が非常に大事だと思う。</p>
座長	<p>大路地区自治協議会の状況や経緯が良く分かったかと思う。今の話を受けて何かご意見ないだろうか。</p>
委員	<p>「自治」と「まちづくり」、「合意形成機関」、「執行機関」の4つの関係が組織によって様々である。これが明確になれば、もっとスムーズになると思う。その辺りを説明頂きたい。</p>
座長	<p>「まちづくり」とは抽象的な言葉であるが、私の思う定義を紹介する。それは、地域の中の暮らしを良くするための活動全てが「まちづくり」である。別の整理をすると、公益と私益という分け方をして、趣味・教養は私益であり、地域の為の公益活動は全て「まちづくり」であると思う。その意味では、全ての分野の全ての活動が「まちづくり」であると思う。これが非常にシンプルな私の考え</p>

会議摘録	
発言者	発言の要旨
	<p>方である。</p> <p>地域の暮らしを良くする活動を誰が担うのかを自分達で決めて、自分達で担うことを「自治」と呼んで良いと思う。地域の方々が地域の組織をつくり、まちづくり活動を行う。これこそが「自治」だと思っている。</p> <p>このように整理をすると、「自治」と「まちづくり」がどのようなものかわかると思う。</p> <p>「意思決定機関」と「執行機関」について、「執行機関」とは、活動の展開を行うところである。その活動をどの組織や団体で行い、お金の工面を決めていくところが「意思決定機関」であると整理できると思う。</p> <p>今までは、意思決定機関と執行機関が渾然一体となっていたのではないかと思う。そこを明確に切り分けることができれば整理できるのではないかと思う。</p> <p>ただ、宝塚では、まちづくり協議会が出来て 20 年となるが、意思決定と執行についてどのように役割分担を行うのか、まだまだ試行錯誤している所である。</p> <p>意思決定機関と執行機関を切り分けた地域においては、意思決定機関が活動の決定を行わないと執行機関にお金が付かない為、意思決定機関が非常に大きな力となり、その人達の機嫌を伺わないといけないというトラブルが発生することもあり得る。</p> <p>もう1つ問題となるのが、意思決定を行う方をどのように選ぶのかということである。本当に地域の代表が意思決定機関の構成員となっているのかということが問われるだろう。実際の事例として、意思決定機関を作るときに各自治会単位から選挙で選ぶことを考えていたところがある。しかし、実際には煩雑となりすぎてしまい結局は自治会長がそのまま意思決定機関に入ることとなる。</p> <p>自治会長が地域の総意を意思決定の場で発言されているのか確証がとれないと民主的に物事は決まって行かないだろう。</p> <p>今、宝塚ではどの様な形で行えば民主的な意思決定ができるのかを常に問い掛け続けている状況である。私もなかなか良いアイデアが提示できていない。選挙で決めることが非常にきれいな方法ではあるが、非常に手間で煩雑な作業で、どれをどうするか整理する必要があるだろう。</p> <p>宝塚市役所も執行機関と意思決定機関を分ける方が上手く行くと考えていた。しかし、分けても上手くいかないことがあるので、分ける事が良い方法であるか今議論されている。</p> <p>方法の1つとして、枚方市の菅原東校区のコミュニティ協議会の手法を紹介する。ここでは、執行機関の各部会の部会長と会長、副会長、会計、書記の4役が意思決定機関を作っている。執行機関の長が意思決定に参加することで、意思決定機関の権限だけで物事が決まらず、執行機関の意思が反映できる。また、執行機関と意思決定機関を繋いでいけるということである。</p> <p>市役所側は民主的に物事を決めてくださいと申されるが、各小学校区単位</p>

会議摘録	
発言者	発言の要旨
委員	<p>で民主的に物事を決めるということは非常に難しい。恐らくこのような物事は総会で決定を行われると思う。しかし、その総会のメンバーで決議することが、本当に全ての住民の意見を反映しているという担保が取れているのだろうか。小さな地域の単位自治会なら反映できているかもしれないが、小学校区では住民の数が相当数となり、どのような形で総意として仕上げるのかが問題である。</p> <p>アンケートでもお聞きしたが、本当に全ての住民の声を反映できる仕組みが出来ているか議論頂きたい。</p> <p>私達の所は、住民の総意や総会決議の案を単位自治会を出してもらい、自治協議会の総会で決議を行っている。総会には自治会長に出席頂いている。</p> <p>自治協議会の会員は全ての住民であり、それを一同に集めることが総会の意義であるが難しい。したがって、各自治会で総意を取り、自治会長の一任で自治協議会の総会の決議しているのが現実である。</p> <p>自治会の総会では一定数の参加で総会の成立という定義もあり、全ての意見を聞くことは難しい。校区の総会で全ての賛同を得ているとは私達も考えていない。そこが難しい所であり、私達も困っている所である。</p>
座長	<p>全ての方が集まる総会というのは現実的に難しいだろう。そのため代表制を取らざるを得ない。そこで、代表選出を民主的にするための方法を考えなければならない。手間をかけず簡明に、実効性のあるやり方を考えていく必要があるだろう。</p> <p>市の単位では、選挙で議員が選ばれ、議会で意思決定が行われる。執行機関として行政がある。市役所はこのように運営している。議員に議会の揉め事は任せているが、非常に重要な案件に関しては、各地で住民投票という形で全員が意思表示をする機会を作ろうとしている。</p> <p>このように、地域でも重要な物事を決める時には、全員の意思表示が出来る形をとり、通常決め事は自治会長が地域の意見を反映しながら物事を決めていく。このような2段構えの体制で行うことも1つのアイデアではないかと思う。</p>
委員	<p>自治基本条例にて、自治協議会の構成員は該当地域の全ての住民となっている。自治会の会員以外の方の合意形成はどうするのか、住民投票であれば誰がおこなうのか、ここがネックだと思う。</p>
委員	<p>指摘の点がまさに問題だと思う。</p> <p>当初の市の補助金では、世帯数や住民数に応じて補助金がでていた。しかし、各自治協議会の会費は自治会の会員の方だけから徴収している所もあ</p>

会議摘録	
発言者	発言の要旨
	<p>る。自治協議会は全ての住民が対象であり、その辺りについてしっかりと議論ができていないと思う。</p> <p>座長の示す手法を取るのであれば、全住民が対象であることを念頭に入れて活動を行うことが必要だろう。</p> <p>また、自治会の代表が決議をすることの意義もわかるが、自治協議会の事業や考え方、会計について単位自治会の皆にも説明を行ってから代表となるように計らって欲しい。私も自治会長として、自治協議会に参加したが、説明が少ないままに参加しているという現状があると思う。</p> <p>毎年のことは問題ないと思うが、新たな問題は自治会に持ち帰り、そこで議論して決めていかないと不信感が出るということとなる。現実的に起こっている問題もあり、しっかりと議論をしていく必要があるだろう。</p>
委員	<p>私達の地域では、自治会長は選挙や選考委員で決められる。その上で、さらに選考委員制により会長が選ばれている。</p> <p>防災などの地域全体的な問題は、自治会の担当理事や自治会で話を進め、協議を行い、決まったことを住民に伝えるということになっている。</p> <p>地域づくりに関しては、別の担当理事がおり、地域は各部会制をとり、各団体の長が入り、部会で地域づくりの計画を立て、執行時には担当会長だけでなく、会の皆で事業をするという形で進めて頂いている。</p> <p>自治会の大事な部分と地域づくりの決定は別にしていく。</p>
座長	<p>地域の総意を問うという場面が市役所側からある。市役所の考える地域の総意とは、何をもって判断するのだろうか。これも一緒に考えていかないと難しい所だと思う。</p> <p>先程の事例では、自治会と自治協議会では物事の決め方を変えて、上手く整理しながらやっているという話であった。では、2つの物事の決め方がある中で、市役所側はどちらの決め方を、地域の総意とするのか、地域の外の問題がある。</p> <p>先程意見があったが、地域の意見を自治会で決めるとなった時、自治会に入っていない方の意見がどこで反映できるのか考えていく必要がある。恐らく、市役所側の目論みは、自治会の加入率が下がっている中で、全ての住民の総意を図る手段として、自治協議会に意思決定を求めているのではないかと私は推測している。</p> <p>自治会と自治協議会の意思決定が別々に行われている地域において、どちらを優先するのかということが、現在、市役所に問い掛けられた課題である。地域と市役所の両輪で考えていく必要のある問題だろう。</p>
委員	<p>まちづくり部会と自治協議会は別々の活動を行っている。まちづくり部会では、会長・副会長がいるが、全ての活動に目を通してはいる訳ではない。最終</p>

会議摘録	
発言者	発言の要旨
座長	<p>的な責任は会長が持つこととして、活動報告は貰うが、各自、自主性をもって分担して活動を行っている。私は自治協議会の活動を兼業で行っているため、一日中活動はできない。その為、自主性を持って分担して活動を行って頂く必要がある。</p> <p>世間的に定年の年齢が、70歳に引き上げられると言われている。男性の健康年齢が75～76歳であると言われている。その中で、70歳で定年を迎えてから会長となるのには、意欲も下がり、フロンティア精神も薄れていくと思う。そうなれば、将来組織が弱体化していくのではないかと思う。</p> <p>この点を克服されている所があれば教えて頂きたい。</p> <p>先程の話で、ボランティアでやっており時間的にかかりきりになるのは難しいという話があった。議会と市役所が意思決定機関と執行機関であると話をしたが、これらは給与を貰い専業で行っている。その為、同じ仕組みを地域に持ってくるのは、難しく無理がある。先程から、簡明や効率良くと話をさせて頂いているのは、ボランティア的に動いても、上手く自主的に物事が決められて、上手く活動が展開できる仕組みを考えていく必要があると思う。</p> <p>また、上手く代替わりができていく所があれば教えてくださいということであった。上手く行っている所、同じ状況であるなどの意見があれば教えて欲しい。</p>
委員	<p>上手く行っているということではないが紹介する。</p> <p>意思決定の仕組みとして、単位自治会は戸主が会長を選ぶ。自治協議会は自治会長が会長を選ぶ。自治協議会の事業とは、交付金をもらい様々なまちづくり事業を行っている。事業や予算の決定は総会で行う。その総会のメンバーは、自治会だけでなく、各団体や介護施設の施設長なども入っている。</p> <p>自治基本条例で定義する市民とは、住んでいる人、勤めている人、外国人も全て市民である。</p> <p>自治協議会の意思決定は、事業計画と予算を決めて承認をもらったら、その通りに大体行く。それほど難しい事はないと思う。反対意見も出ることがあるが、意思決定機関と執行機関が重なっているので、あまり問題は起きていないと思う。しかし、単位自治会の会員は戸主である。意思決定を行う際には、行い易い面と、こじれると全く意思決定が出来ないという時もある。</p> <p>意思決定や合意形成をする時に、2つのルールがあると思う。それは、多数決であるか全会一致であるかというものである。単位自治会は意外と全会一致に基づく意思決定を行う。少しでも反対意見があれば、検討し直してもう一度案を提出することとなる。自治協議会ではこのようなことがあまり無いように思う。</p> <p>この間も申し上げたが、山南町の統合問題について、新聞で取り上げられ</p>

会議摘録	
発言者	発言の要旨
	<p>たように少し前に進んだところもあるが、1つの地域の所から委員を出さないという意見が出ている。その地域は、資料で組織図を書いて頂いたように、自治協議会と自治会長会は別の組織である。自治会長会の方が力が強い。そのため、反対賛成などの意見について自治会長会が戸主の総意として意見を出していた。ところが、PTAの代表などが入ってくると、世代が異なり、意見も異なり、それをまとめることはかなり難しい状況である。</p> <p>山南中学校は3小学校区であるのに対して、和田中学校は1小学校区であり、議論をするときに3対1となり不公平であるので、1対1にして欲しいという意見があった。要するに多数決で決める時には不利であるという意見であった。そのため、選考委員会の設置要綱に多数決で決めるという条項を削った。そうすると、どのように意思決定や合意形成を行うのか全く見えなくなった。</p> <p>この問題は山南だけでなく、他の地域でも絶対に出てくると思う。未来都市審議会も、いくら議論しても前に進まないというところがあり、市からワークショップをするように提案を頂きたいと思う。少人数であれば意見が出るけれども、あのような会議で手を上げて発言をするというのは、よっぽどのことでないと出来ないと思う。そのような中で合意形成をしていくことは非常に難しいと感じている。</p> <p>良い事例として、山南地域4地区で実行委員会をつくり、防災講演会を実施した。これについては、またご報告させて頂きたいと思う。</p>
職務代理	<p>意思決定機関と執行機関を切り離すという話をされた。座長が丹波市の組織図を見る中で理想的な所があれば教えて頂きたい。</p>
座長	<p>資料3の5ページの柏原がすっきりしているから見せて頂いた。決議機関が理事会となっており、そのマネジメントを行う為に三役会や幹事会があるとなっている。執行機関として、各部会があるとなっている。</p> <p>このとき理事会で、皆が納得の上で決議を任せられるという民主的な意味で理事が選ばれていれば理想的であると思う。</p> <p>理事の役員がどのように協力をしているのか教えて頂ければと思う。</p>
委員	<p>理事のメンバーは、単位自治会の会長が17名と、その他については各自治会で意思決定をもって選考して頂いている。理事会で決まったことは各自治会に降ろして頂くということとなっている。各種団体は、それぞれの組織から代表者に来て頂き、自治会長と同じ扱いで物事を決めて頂き、団体へ物事を伝える役割がある。</p> <p>環境部会などは、自治会でも大切なことなので、自治会長に出てもらおうというような割り当てを行い、自治会長以外の団体からも部会長になって頂くという組織作りをしている。</p>

会議摘録	
発言者	発言の要旨
座長	<p>宝塚には20のまちづくり協議会有り、同じ様に組織図を作った。組織図はとも理想的で美しくても、運営は人が行うのでそれが本当に美しく出来ているのか保証できない。なので、宝塚では執行機関と意思決定機関を分けて、二院制で行おうとお勧めしてきたが、形だけ切り替えても運用上かなり課題が出てきたところもある。形だけ考えても駄目だと思っている。</p> <p>極論を言えば、ワンマンな会長がいて、その人の意向に沿う人だけを理事にして、反対意見が言えない状況が出来上がる可能性もある。それは人の問題であり、丹波市でもこれが問題として出てきており、形だけでは駄目であると先程から話をさせて頂いている。</p> <p>今は、それぞれのコミュニティの信頼関係で成り立っている。そこに悪意が出てきたときに防ぐ方法を考える方が良いのか、今後も信頼関係で行うのか。私はどちらも地域のあり方だと思う。こうあるべきというのは難しい問題である。学識経験者として大学の先生がこうあるべきだという、あるべき論で話が進められることがある。私は逆に現場の方々とやってきており、早急な事は難しいと分かっており、本当に現場で動く仕掛けや仕組みというのは、丹波なりの考え方を組み立てていきたいと思う。それがこのあり方懇話会のポイントだと思う。</p> <p>先程の学校統合の話の様に、重要な意思決定を行うときには、立場の違う方々で対立が起こることはしばしばあると思う。私も別件で数回経験している。今後ワークショップをすれば私からアドバイスがある。</p> <p>それは、立場の人のバランスを考えた方がよいと思う。例えば、意見の偏った方ばかり集まってワークショップを行っても、偏った答えが出る可能性がある。本当の意味での地域正論であるか、保証ができなくなる。その意味で、賛否両論がきちんと聞けるような、バランスの良い参加者になると、答えもバランスよく出てくると思う。代表にこだわるのではなく、立場や意見の種類を気にして頂いた方が上手く行くと思う。逆に言えば、それが上手く行けば人数は沢山いらぬということである。典型例を挙げると、署名活動がある。何千人の署名が集まっても、賛同者の数を示すだけであり、違う考えの方との調整を行わない限り、地域の声とはならないと思う。多数決ではなく、少数意見の方々の意見を上手く反映することが、良い形での合意形成を図ることだと思う。</p> <p>もう1つを具体的な話をすると、宝塚市役所では2年かけて現在のまちづくり計画を見直すことを今年度から始めた。見直した計画は市の総合計画に反映することになっている。</p> <p>昨年は、この計画に多くの方々の意見が拾える様にするためにはどうしたら良いか、1年間をかけて議論をして、まちづくり計画見直しガイドラインを作った。まちづくり計画見直しガイドライン作成の中で、あるまちづくり協議会の会長は、計画の存在を知らなかったと申された。なぜそのようになったのかと言う</p>

会議摘録	
発言者	発言の要旨
	<p>と、10 数年前に作成された計画は、当時の役員だけで作文をされていたということである。なので、代替わりをして知らないという状態であった。計画策定段階から多くの方々に参加頂くことで、誰が会長になっても、計画の存在がわかり、自分が作った計画だという思いが多くの住民に出てくるのではないかと思う。このような事をガイドラインの中に反映をした。また、地域によって様々な計画策定の方法があるので、地域に合わせて、メニュー方式で選択をして頂くように作っている。</p> <p>宝塚では、このような計画策定の為の委員会を作る必要があり、ワークショップという多様な方の意見を賜る機会を使って、民主的になる方法を考えている。また、計画策定を通じて、まちづくり協議会の作り方も見直そうとしている。</p> <p>抽象論ではなく、具体的な事で上手く物事を進める為の方法を考えるとわかりやすいと思う。それぞれの地域でどのような事態がどのように起こっているのか情報交換頂ければいろいろな事が見えて来るのではないかと思う。</p>
委員	<p>私はまちづくり指導員となり5年となる。当初3年間は山南地域を担当していた。指導員として、市役所としての立場があるので、座長が言われた様にあるべき論で話をしていたが、現実にはそれは難しいと自治協議会の会長や推進員から言われることがほとんどであった。</p> <p>丹波市の自治協議会は、自治基本条例制定にあたり、早急に作らなくてはならないという命題の中で、既存の団体を使い校区毎の自治協議会を立ち上げたという所が殆どである。自治基本条例に沿って、地域の課題解決の為にしっかりと議論されて作られたものではないというのが、丹波市の特徴だと思う。</p> <p>市役所と自治協議会は協働のパートナーであるため、市役所の考えは入れたくないという思いがあり、地域自身で考えて運営をして頂くように言ってきた経緯がある。当初は、まちづくり指導員も基本的な考えは押し付けてはいけなさと指示されていた部分もある。</p> <p>自治協議会のキーパーソンは推進員である。会長が毎日来られている所もあるが、会長が事務所にいない方が多い。そのため、推進員のコーディネーター力が鍵であるが、個々の力量には差がある。推進員も様々な業務で忙しく、今後のあり方を真剣に考えていくという部分がなかなかできない環境であると思う。</p> <p>このあり方懇話会の中で、自治基本条例に規定されたものに近付けていくことを考える中で、ゼロから作られたり、他の団体から自治協議会に変わったりということも含めて考えていくことが重要だと思う。</p>
座長	<p>個人的には、最終ターゲットは皆で一定程度共有していくことを目指している。しかし、指摘のあったようにスタートラインが違うところがある。また、自治協議会ができて数年経って、現在の到達点も違うだろう。このあり方懇話会で</p>

会議摘録	
発言者	発言の要旨
委員	<p>は、現状から一歩でも理想的なところに近付くための戦術戦略を皆と議論をさせて頂きたいと思う。</p> <p>組織図をみると分かるように、各地域でバリエーションがあることが伺える。ここから、各地域の次のステップとして目指すべき姿を考えて頂ければと思う。</p> <p>このように、あるべき論と現状を地域で共有して、その上でどのように取り組むかを議論して頂きたいと思う。</p> <p>私も自治協議会を立ち上げるときに指導員をしていた。私もあるべき論を実際に地元の方や推進員の方と話をしたが、現実には難しかった。</p> <p>当時の市役所の職員に、自治協議会はどのようなものか聞いた時には、それぞれの職員によって回答が異なった。ミニ市役所だと言われた方もいれば、氷上や市島の自治振興会みたいなものだと言った方もいた。極端な話では、全てフラットにしないといけないという方もいた。しかし、いくらあるべき論の話をを行ったところで、地域で作り上げてきたものが直ぐには変わらない。また、市役所から押し付けられるものでもないだろう。</p> <p>自治基本条例は、自治協議会がスタートした後に制定された。当然、当時の事情を自治基本条例が汲み取ったかという、あくまで理念的なものなのという声もあり、僅かしか汲み取れていない。</p> <p>今日の活動内容が、本当に今の活動内容で良いのかということも議論しなければいけないと思う。実際に自治会と自治協議会で行う活動が被っている所もあり、昔からの行事も続けて当たり前という議論であるのかもしれない。そもそも論と現状を一度整理しないと話が始まらないかと思う。</p>
座長	<p>宝塚の会議でも同じ話が出た。まちづくり協議会と自治会が同じことをやっているという現状を整理できればというものである。しかし、「伝統を奪うのか」といったトラブルの可能性もある。</p> <p>各地域の自治協議会がどのような役割を担うのがよいかは、あるべき論ではなく地域で考えた方がよいと考えるようになってきた。指摘の様に、宝塚でも同じ様な活動を行い混乱に繋がっているところもある。これも皆で議論をさせて頂きたいと思う。</p> <p>先程ボランティアで活動をされているという話があった。先程の推進員の役割と関わるが、専業でそれなりの給与を頂き動くのであれば、やりがいも出てくると思う。その辺りも今回のあり方懇話会のポイントの1つで財源に関わってくると思う。</p> <p>真似は難しいと思うが、名張市の美旗地区の事例を紹介させて頂く。ここの昨年のまちづくり協議会の収入は4億円を超えている。収入源の1つは地域コミュニティセンターの指定管理業務である。もう1つが、美旗地区には近鉄の特急停車駅があり、その駅前駐車場の指定管理業務がある。このようにして、4億円のかんりの部分を市の指定管理料として受け取っている。つまり、</p>

会議摘録	
発言者	発言の要旨
委員	<p>市側が事業にお金をつけて地域に渡すことができれば、一定のお金をまちづくり協議会が動かすことができるということを申し上げたいために、美旗地区の事例を紹介した。</p> <p>美旗のまちづくり協議会の会長は、コミュニティセンターの事務局長を兼任することで、人件費を当てることが出来ている。このような仕組みを用いて、まちづくり協議会に人件費を出さなくても、地元の施設管理運営費で賄っている。コミュニティビジネスでお金を稼いでくださいというだけでなく、市が持っているお金を事業として渡せるのかを考えて頂くと、一定の自治協議会の原資が賄えるのではないだろうか。</p> <p>私は自治基本条例の審議会に入らせて頂いていた。当時は丹波市自治会長会の会長という立場であった。当時の一番の議論は、行政と住民との柱がどのようにあるべきなのかということであった。住民が市政に関わり、どのように参画をするのかというものであった。自治協議会がどうあるべきという議論はあまりなく、市長や議会、行政のあり方の議論が中心であった。自治基本条例の中の自治協議会の規定と地域コミュニティの規定は、委員から具体的に意見が出たものではなく、事務局から提案頂いたものである。</p> <p>当時は、地域づくりと行政と関わっていくルートとして大事かなと思った。実際に自治協議会の会長を務めさせて頂き、運営を行うとこの条例の考えは正しいと実感した。</p> <p>例えば、住民アンケートで若い人から高齢者の見守りや高齢者福祉が大事だという意見が出た。意見を基に、100歳体操や認知症予防、高齢者の健康づくりなどについて、校区全体で研修会を行った。その結果、校区内の6つの地域で100歳体操を続けて頂いている。参加した人からは良かったという評価を貰った。</p> <p>このように自治協議会は、自治会に活動のヒントを示して行き、必要があれば、研修会を開きリーダー養成という役割を担っていくことが、自治協議会の役割だと思う。自治会は生の声を聞いて、地域全体の課題だと認識頂いて、自治協議会に提案を頂くというような連携を大事にしていければと思う。</p> <p>今日も福祉担当の委員長から認知症対策や、認知症の高齢者の見守りについての研修会を開きたいと計画を見せて貰った。このような取り組みが自治会との繋がりになり、自治協議会の大きな役割だと思っている。現在は、校区全体で防災訓練ができないかと考えている。自治協議会で行えば、学校と一緒に行うと言ったこともできると思う。自治会と自治協議会で行う事業は似たようなところもあっても、それぞれ意味が違う。その違いを整理して、自治協議会で出来ること、自治会で出来ることを整理することが必要だと思う。</p> <p>私は地域経営という言葉をよく使うが、単に行事を行う組織ではなく、地域の課題をどのように解決するのかを考えていくことが大事だと思う。</p> <p>例えば、大路地区では農業の問題がある。高齢化率は41%と市内ワースト</p>

会議摘録	
発言者	発言の要旨
座長	<p>2である。どのようにすればよいかと、校区で取り組むことを提案すると皆大賛成であると言われた。各自治会で取り組むには限界があり、大路地区全体で活動を行うことが必要であるということであった。ただ、簡単に解決する問題ではないので、課題を残しつつ次の方に引き継ぎを行った。このような課題を見つけるのも、自治協議会の役割だと思う。</p> <p>現在、私は 73 歳となり、早く辞めさせて欲しいと言っているが今日に至った。なぜかという、昔は若い人が 60 歳定年で帰ってきていたので頼むことができたが、定年が 65 歳 70 歳と伸びて、なかなか引き継ぎができなくなっている。</p> <p>市役所職員などが、身近の地域の問題を十分に承知されて、若いうちから地域経営に関わって頂きたいと思う。個人的な思いであるが、このように皆の意見を聞きながら思った。</p> <p>人の問題や活動の問題など意見を賜った。</p> <p>冒頭にも話をさせて頂いたが、そろそろ今年度の間とりまとめをさせて頂きたいと思っている。今回は前回とは異なるご意見を頂いたため、補強をしていかなければならないと思うが、資料5として前回までの議論の中での意見の取りまとめと検討の視点の素案を事務局からご準備頂いている。こちらを事務局から説明を願う。</p>
事務局	<p>○資料4及び資料5について説明</p>
座長	<p>議論を深めるために資料提供をいただいた。この説明を受けて、気になるところ等、意見交換をさせていただきたい。時間も残り少ないことから、次回もこの資料を再度見直していただき、気になるところを伺いたい。</p>
委員	<p>資料5において、事務局から説明いただいたが、1つ気になる所がある。</p> <p>各自治協議会は、自治協議会以外の自治会やその他団体の事業や活動を余り把握できていないかと思う。</p> <p>校区内の活動を自治協議会が把握することが、次のステップに進む方法だと思う。自分達に見えていない活動も議論していき、どのようにコントロールするのかという方向性での議論も大事だと思う。</p>
座長	<p>情報提供のやり方と課題についての話題が出てきた。</p> <p>資料4の 36 番の「何を誰がどのように決めているのかわかりやすく公開されていますか」では、できていない部分が 56%である。これは自治協議会の情報が公開されているかということであるが、先程の指摘はこの逆で自治協議会に情報が集まっているかということである。情報が集まらなると情報が提供できないので、情報の受発信を如何に行うのが大事である。</p>

会議摘録	
発言者	発言の要旨
	<p>些細な工夫で取り組みが出来ている事例がある。各団体が出す広報紙を自治協議会が集約して、広報部会が1つの広報紙に仕上げるといった取り組みをしているところがある。そうすると、各団体の活動が広報部会に集まるということである。手間は掛かるが、広報誌をまとめることでステップアップできると思う。</p> <p>また、広報部会が各団体の行事の取材を行うという方法も1つの手段である。取材を通じて行事を行う方の顔が見えてくる。取材を通じて、お互い顔が見える関係が出来上がっていくということである。このような方法を考えて頂ければ、お互い繋がっていくことができるということである。</p>
委員	<p>私共の広報は、今までは事務局が行っていた。しかし、各部会を設置するにあたって、各部会に広報委員を1名配置することとなった。各部会の広報委員が活動報告を行いまとめていくという手法を今年から行っている。</p> <p>先程指摘のあった、団体についての情報がまだ手薄な所がある。先程の手法を参考にしながら取り組みを行いたい。</p>
座長	<p>話は変わるが、若い方はホームページやフェイスブックといったインターネットを通じた情報提供が得意だと思う。</p> <p>先日東淀川にて、地域の活動を担えないのかという話の中で、PTAの役員から「ホームページを作ったことがあり、協議会のホームページ作りの担当ならしてもよい」と言って頂いた。PTAの役員で子育て世代の為、夜の会合には出られないが、情報を貰えば自宅でホームページ作りが出来るということである。これも新しい担い手を確保する1つの手段である。</p> <p>広報の視点において、大阪市鶴見区の榎本小学校区まちづくり協議会が良いホームページを作っている。こちらは、広報部会がフェイスブックも立ち上げている。こちらの取り組みは、フェイスブックで各行事を行う方が写真付で投稿することで、広報部会が取材に行かなくても、写真と記事の両方がそろい、それを活用して紙媒体の広報紙に掲載している。これがフェイスブックの良い所で、これを得意な若手にお任せするというのはどうかと思う。</p> <p>八尾市の山本小学校区まちづくり協議会の前会長は、毎日自分でもフェイスブックに自分の活動を投稿されていた。そうすることで、周りから会長の活動が目に見えるようになり、会長の仕事が大変であると理解が得られた。そして、周りから、毎日難しいが少しは手伝いをしたいという声に繋がっていった。このようなことも参考にさせて頂ければと思う。</p>
委員	<p>広報部会のフェイスブックの取り組みは、フェイスブックのグループ機能を使われているということだろうか？</p>
座長	<p>その通りである。</p>

会議摘録	
発言者	発言の要旨
座長	<p>フェイスブックでは、行事が行われている場所に行かなくても、直ぐに情報が入る。各団体が活動をフェイスブックに書き込んで頂くと、瞬時に情報共有が行われるということである。</p> <p>このような新しい便利な道具を上手く活用できればと思う。</p> <p><b>(2) 中間報告にかかるとりまとめについて</b></p> <p>今回は今までの議論を事務局で上手く整理をして頂いて、「取り上げた話題」「議論中の話」といったことを今年度の一定のまとめとして整理していきたいと考えている。また今日の議論も整理をしていただき、次回議論や補強、修正をすることで中間まとめとして整えていきたいと思う。</p> <p>私から美旗地区の紹介をさせて頂いたように、各地域に拠点を準備して頂くこともあるかと思う。財源もしっかりとした活動ができるように市からの支援もしてほしいと思い、美旗地区の事例を紹介した。それを受けて、次回現状や期待などを寄せて頂きたい。</p> <p><b>6 第4回懇話会開催日程等</b></p> <p>平成 30 年 11 月 20 日 (火) 14 時 00 分～</p> <p>於:山南住民センター 集会室</p>
職務代理	<p><b>7 閉 会</b></p> <p>私は、推進員で4年と理事長になり5年目となる。元気な地域づくり計画とまちづくり計画策定にも携わった。こうあるべきという思いで自信を持って推進してきた。しかし、今日の話や各地域の数多くの団体が参画している組織図をみて、皆大変な中でやられていると初めて知った。また、執行機関と意思決定機関の切り分けや、住民の総意に基づく事業推進など、取り組むべきことが多々あると分かった。このあり方懇話会が 25 校区の自治協議会の為になればと願う。</p> <p>お願いが 1 つある。市役所に、自治協議会にはこれだけは行って欲しいというものを示して欲しい。市政を行う上で、市長の方針、副市長の方針、市役所の方針を周知決定していくということも、このあり方懇話会の役割だと思う。ある面ではサテライト的な役割も必要だと思う。</p> <p>私は課題解決型交付金があるので、行政から自治協議会に対して、課題解決に向けた活動を推進していくという意志を示しているのだと思う。それについても情報交換をさせて頂きたい。</p> <p>本日の会議ではいろいろなことが分かった。今後の会議でも有意義な意見交換をさせて頂きたいと思う。</p>